

『カブトムシ里親まつり（飼育編）』を 開催しました！

10月19日（日）、箕面国有林において「カブトムシ里親まつり（飼育編）」を実施しました。

このイベントは、NPOクワガタ探検隊との共催で、カブトムシの飼育を通して自然とのかかわりや生命の大切さを学ぶ取組で、4家族13名が参加しました。

参加者は、まずNPOクワガタ探検隊の創作紙芝居「タマムシの彩ちゃん」を観ながら、生き物についての知識を深めました。

次に、昆虫ベッドでカブトムシの幼虫を探しました。子供たちが幼虫を探しますが、地中深くに隠れているのなかなか見つからず、途中からお父さんやお母さんも一緒に土を掘り、大きな幼虫を見つけることが出来ました。見つけた幼虫は、周りを優しく掘り進め、子供たちの小さな手のひらに収まり、親子でのぞき込んだり、写真を撮ったりして充実した時間を過ごしました。その後、腐葉土とバクテリアを入れたガラス瓶に幼虫を入れると、元気に地中に潜り込む姿を観賞しました。幼虫を入れたガラス瓶は、参加家族がそのまま持ち帰り、幼虫から成虫へと育つ変化、生きる力の凄さを親子で観察してもらいます。

最後に、この昆虫ベッドにたくさんのカブトムシが卵を産めるように、参加者で大阪北摂地域産の腐葉土をどろんこになりながら敷き詰めて作業を終了しました。

参加者した子供たちからは、「全部おもしろかった。」、「元気にできたありがとう。」、お母さんからは、次回の「カブトムシ里親まつり」にも参加したいとの感想をいただきました。このイベントで参加した子供たちに、生き物の尊さを感じてもらえれば嬉しいところです。



紙芝居の実演



カブトムシの幼虫探し



近畿大学中高大連携 森林学習プロジェクト

～ 箕面 Forest Walk in 勝尾寺園地 ～

11月2日(日)、箕面国有林の勝尾寺園地で箕面フォレストウォークに参加しました。

この取り組みは、近畿大学農学部学生による箕面市内の小中校生や一般市民に森林の楽しさや大切さを伝え、木づかい運動を普及させ、森林に興味関心を持ち、次世代の森林を守りたいと思い、行動できる人材を育てる取り組みです。

当日は、晴天にも恵まれ、19名の親子が参加し、森林散策、木工品づくり、モルックを体験してもらいました。

森林散策では、大学生の案内で森の知識をたくさん学んだり、ホウノキの大きな葉を探したり、サワガニを触ったりと自然に触れる体験をしました。また、木工品づくりでは、丸太切り体験で切った木を利用した松ぼっくりのクリスマスツリーづくりなどに親子一緒になって楽しんでいました。

参加者からは、「森の中で色々な体験ができて楽しかった。」、「来年もぜひ参加したい。」などの感想が寄せられました。

最後に近畿大学15名が自分たちで企画・準備・運営まで行い、一人一人が責任を持って行動する姿が印象に残った取り組みでした。



森林散策



モルック体験



近畿大学学生の皆さん



サワガニを発見



木に触れる参加者

